

機関番号：32411

研究種目：研究活動スタート支援

研究期間：平成 21 年～平成 22 年

課題番号：21830101

研究課題名（和文）「非制度化」と「教師ブログ」から理解する現代社会の学校

研究課題名（英文）

Analysis of teachers' blogs

研究代表者

光野百代 (MITSUNO, MOMOYO)

駿河台大学 外国語教育センター 助教

研究者番号：10544942

研究成果の概要（和文）：教師の個人的経験が書かれた「教師ブログ」という事例分析からなる本研究は2つの点に注目して展開された。一つは、個人的な経験を表現するブログ利用者の教師というアイデンティティと環境である。もう一つは、教師教育研究の文脈で主張されている教師の反省的実践が教師個人にとってどのような重要な意味を持ち、どのような関係の中で展開されるのか、教師の実践から捉えることでその現状を明らかにする分析である。事例のデータから、慢性的な疲労やストレス経験などの私的な経験が、新しいインターネット文化や商業サービスの利用を伴ってブログとして表現される一方で、教師の個人的経験を書いたブログがブログの利用者でなく教師によって展開されていることが明らかにされた。事例での分析の内容は、著書、論文公刊や学会発表を通して発信された。

研究成果の概要（英文）：

A case study of teacher blogs was considered by examining two key questions which developed from studies conducted in this research project. One is the complex settings in which users of blogs write their personal experiences of chronic fatigue and stress in their identity as teachers, not as users of blogs. The other question is how teachers themselves make sense of their teaching experiences in their everyday practice. Data in this study reveal that individuals engage in the use of commercial services and new Internet culture while representing their personal experiences in public. Analyses of the data were published in the form of one book chapter, one journal article, one conference paper and one seminar presentation.

交付決定額

（金額単位：円）

	直接経費	間接経費	合計
平成 21 年度	190,000	57,000	247,000
平成 22 年度	350,000	105,000	455,000
年度			
年度			
年度			
総計	540,000	162,000	702,000

研究分野：教育社会学

科研費の分科・細目：教育社会学

キーワード：制度、個人的経験、教師ブログ

## 1. 研究開始当初の背景

現代社会の教師の職業生活の変容に関する研究は、学校という機関が組織からマネー

ジメントへとその活動内容を変えている文脈において、組織レベルの視点から、変わる学校環境で教師が自己の経験を振り返り、反

省的になっていく分析が主に行われてきた。この分析の焦点は、学校という組織の技術的変容が、組織内で働く教師の職業経験に与えるインパクトである。これに対し、本研究では、教師の職業生活の変容について文化レベルの分析を提案する。この分析は、変化を経験するがゆえに反省的になる教師の分析から、変化を経験する教師の反省的能力へと研究の視点を転換する。さらに、「教師の反省的実践」という考えを、実証的に研究する出発点を与える。

## 2. 研究の目的

本研究は、制度としての学校の変容と、教師の個人的経験とを総合的に考察しながら、現代の学校の制度的そして文化的変容を「教師ブログ」という事例から捉えることを試みる。政策、文化、技術といった多元的変容を多様なレベルで変容を経験している現代社会の文脈での学校を理解するために、教育改革政策のロジックが教育現場で実践として出現する過程を捉える制度理論を用いた「外側から内側へ」の分析が行われてきた。本研究は、教師が教育改革を「内側から外側へ」のプロセス、つまり、変容する環境の中で自己の社会的経験に一貫した意味を与えようとする個人が行為者として主体となるプロセスの分析を試みる。

## 3. 研究の方法

本研究では、「非制度化」という概念を用いながら、「教師ブログ」という文化現象に注目し、個人的に構築される教師ロジックの「出現」を分析する。具体的には、教師の職業生活の経験を書いた教師ブログというケースを設定して、すでに収集された教師ブログのデータを基に、教師の職業生活にパーソナルな意味を構築する個人の実践の質的分析から成るケーススタディを展開する。

## 4. 研究成果

平成21年度は、日本の教師ブログに対応し、比較の対象となる事例として、同じく教育改革を経験するイングランドで見られる教師ブログについてデータ収集と分析を行なう予定であった。しかし、そのデータと分析との往復の中で、研究計画に柔軟性を持たせる必要が出てきた。計画では日本の教師ブログとイングランドのそれを分析し、その比較の中でケーススタディの分析を行なう予定であったが、イングランドの教師ブログは2点の気付きから研究に含めないことにした。第一に、研究のデータとして十分な量のブログを読むにはかなりの時間がかかり、与えられた研究期間内でデータ収集と、その分析を行うことは研究者の研究環境の現状か

ら判断して困難であることである。第二に、インターネットから収集するデータから、「日本」のブログ、「イングランド」のブログという具合に特定の人口・集団を設定することは、文脈の発見を目的とする本研究のケーススタディの方法上大いに問題があるという点である。

上記の気付きは、他の事例との比較から特定の事例の分析を展開するのではなく、単一の事例のみでケーススタディを展開するには、本研究の理論的概念を明確にする必要があるという重要な課題へとつながった。その結果、個人による教師の職業経験の構築に、ブログという新しいメディアの利用が関わるという点に注目し、研究者が自身の博士論文で援用し、展開したシビライゼーションアナリシスという理論的概念に本研究において、日本の教師ブログの分析を展開する方法として選択した。最終的には、個人レベルで意味の編成と、情報伝達技術利用の実践との二つの文脈から展開されるデータの分析が本研究の中心となった。

平成22年度には、ブログに書かれた教師の個人的経験について継続して分析を行なった。個人的経験の表現に焦点を当てたこの分析は、教師の反省的実践が教師個人にとってどのような重要な意味を持ち、どのような関係の中で展開されるのか、その現状を中心テーマとする分析である。この分析は、「制度としての学校の変容と、教師の個人的経験とを総合的に考察しながら、現代の学校の制度的そして文化的変容を捉える」という本研究の目的と以下のように重要な関連を持つ。

協働する教師の反省的実践という考えが教師教育研究で論じられるが、教師の反省的実践の分析は「個人」の活動(action)という視点から分析され、その理論的な考察は個人の意識や認識と技術という二つのレベルの分析に限られている。しかし、ソーシャルアクター(組織、技術、文化、そして個人の自律といった多元的なレベルで活動を展開するアクター)という概念を援用する本研究が理解し、本研究のデータが裏付けるところによると、「個人」の活動ではなく「社会的な活動」という視点から反省的実践を以下の二つについて検討される必要がある。一つは、教師の協働的活動は制度的環境に影響されており、また、そうした影響は学校組織での状況に位置づけられているときに活動の枠組みを与える文脈として現れるということである。二つ目は、この制度的文脈の分析は組織の状況に位置づけられた教師の活動を理解するうえで重要である一方で、協働を推し進める制度的影響力が教師の実践に顕著化されているのかどうかを検討するには、「個人」ではなく多元的なレベルで教師の実践を分析するソーシャルアクターという視

点が登場してくることである。

以上の考察に基づいたデータ収集と分析によって事例研究を展開し、その成果は次項に記載する論文や学会発表として発信された。また、ソーシャルアクターという視点から日本の学校組織と学校文化で観られる実践の考察を展開し、日本のソーシャルネットワーク論として執筆した。これは辞典項目として2011年に公刊される予定である。

‘Japan’, in George Barnett and Geoffrey J. Golson (Eds.) *Encyclopedia of Social Networks*, Sage Publications, Thousand Oaks, CA (due 2011)

#### 5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計1件)

Momoyo Mitsuno 2010 “Personal messages of and for others: writing teacher blogs on the Internet”, *New Cultural Frontiers*, Vol.1, No.1 pp.45-59

[学会発表] (計3件)

Momoyo Mitsuno, 2009 “Rethinking culture in Sociology of teachers and teachers’ work”, Asian-Pacific Forum on Sociology of Education, Tainan, Taiwan, May 2009

Momoyo Mitsuno 2010 “the role of emerging personal conflicts in teachers’ changing work lives” RC 4: Sociology of Education. ISA XVI World Congress of Sociology, Gothenburg, Sweden, July 2010

光野百代 2010年「教師ブログと変わる教育環境」早稲田大学教師教育研究所研究部会、2010年10月

[図書] (計1件)

Momoyo Mitsuno 2009 "Exploring Strangeness in the Plurality of Teacher-Student Relationships." In *Intimate Explorations: Reading across Disciplines*, edited by Alejandro Cervantes-Carson and Beatriz Oria. Oxford, U.K.: Inter-Disciplinary Press pp. 209-219

[産業財産権]

○出願状況 (計 件)

名称 :

発明者 :

権利者 :

種類 :

番号 :

出願年月日 :

国内外の別 :

○取得状況 (計◇件)

名称 :

発明者 :

権利者 :

種類 :

番号 :

取得年月日 :

国内外の別 :

[その他]

ホームページ等

#### 6. 研究組織

(1) 研究代表者 光野百代  
( )

研究者番号 : 10544942

(2) 研究分担者  
( )

研究者番号 :

(3) 連携研究者  
( )

研究者番号 :